

【プレ公告】

2021年6月11日
独立行政法人国際協力機構
契約担当役 理事

業務名称（仮称）：「未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト（PEACE）フェーズ3」に係る運営支援業務

公告時期（予定）：6月末頃

業務実施期間（予定）：約3年7カ月（2021年8月31日～2025年3月31日）

競争方法（予定）：一般競争入札（総合評価落札方式）

業務内容（概要）：

JICAはアフガニスタンにおいて、2011年より技術協力プロジェクト「未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト」（以下「PEACE」という。）を実施している。PEACEは、当国の公務員及び大学教員を対象に、本邦大学での修士号及び博士号取得機会の提供を通じた能力強化を行うことにより、帰国研修員の政策の立案・実施への関与強化と能力発揮を図り、もってアフガニスタン政府の計画・事業実施能力の強化に寄与するものである。これまで、PEACEフェーズ1（2011～2019年）及びフェーズ2（2016～2025年）の実施を通じて600名を超える当国行政官等が育成された。本案件はその後継案件（フェーズ3）として、特にインフラ、農業・農村開発、人間開発（教育・保健）を支援対象分野と定め、既往2フェーズ同様、本邦大学での修士号及び博士号取得機会の提供を通じた能力強化を行うと共に、併せて帰国後の成果活用の促進等（フェーズ1、2を含む帰国研修員のネットワーク強化と成果活用・共有の拡充等）を行う計画である。

本業務では、PEACEフェーズ3の一環として、研修員の来日前、滞日中、帰国後それぞれの段階における、事業運営上の各種調整・サポート等を行うものである。具体的に想定される主な業務は次のとおり：

【来日前】長期研修（本邦大学での修士号及び博士号取得）・短期フォローアップ研修（帰国済研修員を対象としたフォローアップのための研修）に係る研修員募集選考業務、本邦受入業務（来日前オリエンテーション、来日支援等）

【滞日中】研修管理業務（研修の進捗や日本での生活状況に係るモニタリング）、付帯プログラム関連業務（滞日中研修員が参加する定期／不定期の各種会合等準備、アフガニスタン政府プロジェクト関係者（実施機関である高等教育省の他、研修員派遣元省庁等）の招へい・カウンターパート研修等準備）、帰国前業務（帰国支援、研修員と派遣元省庁間の連絡調整を含む復職促進等）

【帰国後】帰国後フォローアップ業務（帰国報告会実施支援、同窓会活動支援、

復職支援・復職状況の確認、研修成果活用状況確認等)

【全体事項】現地運営委員会調整業務、広報活動、その他バッチ横断業務、終了時モニタリング等。

上記プロジェクト期間中、現地及び第三国への渡航は想定していない。現地で必要になる各種業務については、契約締結後、受注者にて現地傭人を傭上する等により本邦から遠隔で実施管理することを想定。また、現地の治安情勢や新型コロナウイルス感染拡大の情勢等により、面談や面接等、現地の活動についても制約が生じる可能性があるため、オンライン会議等も必要に応じ活用する。

以上